

四国横断自動車道 勝浦川渡河橋の整備に関する環境保全検討委員会

第8回検討委員会 議事概要

1. 日時 令和7年12月1日（月）13:30～15:30

2. 場所 徳島河川国道事務所 5階 会議室（WEB併用）

3. 出席者

〔委員長〕

中野 晋 徳島大学環境防災研究センター 名誉・客員教授

〔委員〕

大原 賢二 佐那河内いきものふれあいの里ネイチャーセンター センター長

鎌田 磨人 徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 教授

木下 覺 徳島県植物誌研究会 会長

桑江 朝比呂 港湾空港技術研究所 沿岸環境研究領域長（WEB参加）

重山 陽一郎 高知工科大学 システム工学群 教授（WEB参加）

長尾 文明 徳島大学 名誉教授

成行 義文 徳島大学 名誉教授

濱野 龍夫 吉備国際大学 農学部 海洋生物学科 教授

和田 恵次 和歌山県立自然博物館 館長

〔オブザーバー〕

西岡 治彦 徳島県 県土整備部 高規格道路課長

（代理出席：徳島県県土整備部 高規格道路課 東副課長）

〔その他〕

徳島河川国道事務所

4. 議事内容

- (1) 環境保全検討委員会について
- (2) 委員会規約の改訂
- (3) 前回委員会における主な意見及び回答
- (4) 工事実施状況について
- (5) 工事中のモニタリング調査結果および今後の調査計画について

5. 審議結果

- 議事内容に関して了解を得た。(3) (5) については意見をいただいた。
- 水質調査項目について、今後は大腸菌群数の分析を廃止し、現行の環境基準である大腸菌数での分析を継続していくことでよい。
- 水質調査地点について、今後は仮設栈橋の延伸に伴い、底質の含泥率が高い打樋川滞筋での工事に着手することになるが、河口部の形状を考慮すると、最も川幅の狭い箇所を設定されている最下流の地点⑦で監視を続け、特異な状況が確認された場合には対応を検討することでよい。

6. 主な意見

議事(1) 環境保全検討委員会について…………… 資料 1

- 特に意見等なし

議事(2) 委員会規約の改訂…………… 資料 2

- 特に意見等なし

議事(3) 前回委員会における意見及び回答…………… 資料 3

- の移植適地の検討について、傾斜と混生林の割合で評価点を付けている。■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■の植被率と林冠の落葉樹の植被率にはある程度の相関はありそうだが、結論に至るまでの過程が分かりにくいので、資料のまとめ方を再検討すべきである。
- 移植植物の一部の個体が生育不良となっている原因を突き止めておくべきである。
- の移植個体のモニタリングは、1年で終了せず、継続したほうが良い。また、改変区域内の重要種等は今回移植されたが、今後も新たな個体が生じる可能性もある。また移植地が伐採地に近く、エッジ効果によって林内環境が変化して■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■の生育環境に適さなくなることが懸念されるため、丁寧なモニタリングに基づく対応を工事開始前から実施したほうがよい。
- アルゼンチンアリは、高速道路としての運用が始まっている北側の区間も含め、ルート上の区間全域に生息している。この前提を踏まえ、今後のチェックや対応を考えていけばよいのではないかと。ただし、工事区域内の土を移動させる場合は、環境省とよく相談したほうが良い。なお、駆除を行う場合、現在設置されている水堀に液剤を入れるのは流出した際の影響が懸念される。ベイト剤を用いる場合は大量に設置する必要があり、薬剤のプラスチックケースが大量のごみとなる問題もある。粒剤も作成したが、コストがかかる。検討の際は、これらの点に留意するとよい。

議事(4) 工事実施状況について…………… 資料 4

- 特に意見等なし

議事(5) 工事中のモニタリング結果および今後の調査計画について…………… 資料 5

- 底生生物調査（潮下帯生物調査）について、今後工事の影響を受ける可能性のある地点（G⑬、G⑮）の重要種の変動は整理しておく必要がある。もう少し調査が進んだ段階で、工事前、工事後でどう変化したか等、重要種に着目したとりまとめを行った方がよい。

- は年々減っている種であり、個体数が少ないため、工事の影響をみるのは難しい。全国のトレンドと比べて評価すると良い。
- 鳥類の飛翔行動について、カモメ・アジサシ類の飛翔高度の中央値が工事開始後に変化している。確認例数が少ないということであるが、仮設栈橋が設置されると飛翔行動に変化が生じることは普通のことであり、必ずしも変化がないという評価にはならない。統計解析等で工事前後に差があるかどうか丁寧にみた方が良い。
- 地形調査結果について、経年的にほとんど変化がない結果となっているが、どの程度の精度で測量を実施しているか。測量ラインや実測されたポイントを確認すること。

7. 配付資料

議事次第

委員会規約

資料1 環境保全検討委員会について・

資料2 委員会規約の改訂

資料3 前回委員会における主な意見及び回答

資料4 工事实施状況について

資料5 工事中のモニタリング調査結果および今後の調査計画について